

地域経済動向レポート

調査時期	2023年10月			対象期間	2023年7月～9月	
対象事業所	小規模事業者対象 ①振興モニター 181件 (うち回答83件) ②市内金融機関取引先19件 (うち回答19件)					
全産業合計	102件 ※全調査対象200件 中回答102件 = 回収率51.0%					
回答業種内訳	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	その他
(小規模回答件数)	17	30	3	17	28	7
付帯調査	【付帯調査】経営課題について					

【全体の動向】

市内小規模の売上D Iは（前回△6.9→今回17.6）と大幅に好転する見通し。

中小機構実施の全国小規模の業況判断D Iは改善（前回△13.7→今回△6.1）するもマイナス傾向、先行きはマイナス幅縮小の見通し。

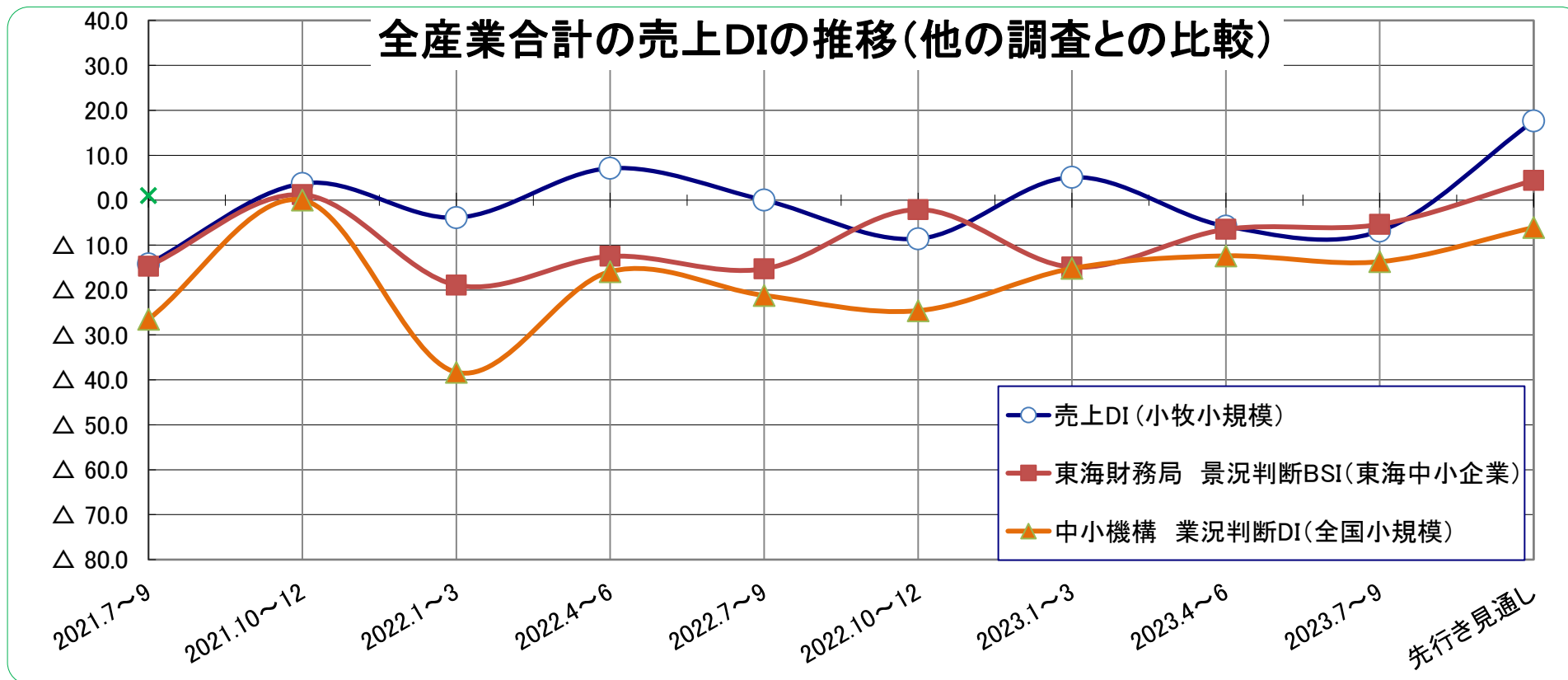
東海財務局が実施する東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡）中小企業の業況判断では好転（前回△5.4→今回4.4）し、先行きは改善の見通しで、全国に比較すると市内小規模も含め東海地方の中小企業は全国に比べ大きく改善傾向にある。

※D I = （増加・好転などの回答割合） - （減少・悪化などの回答割合）

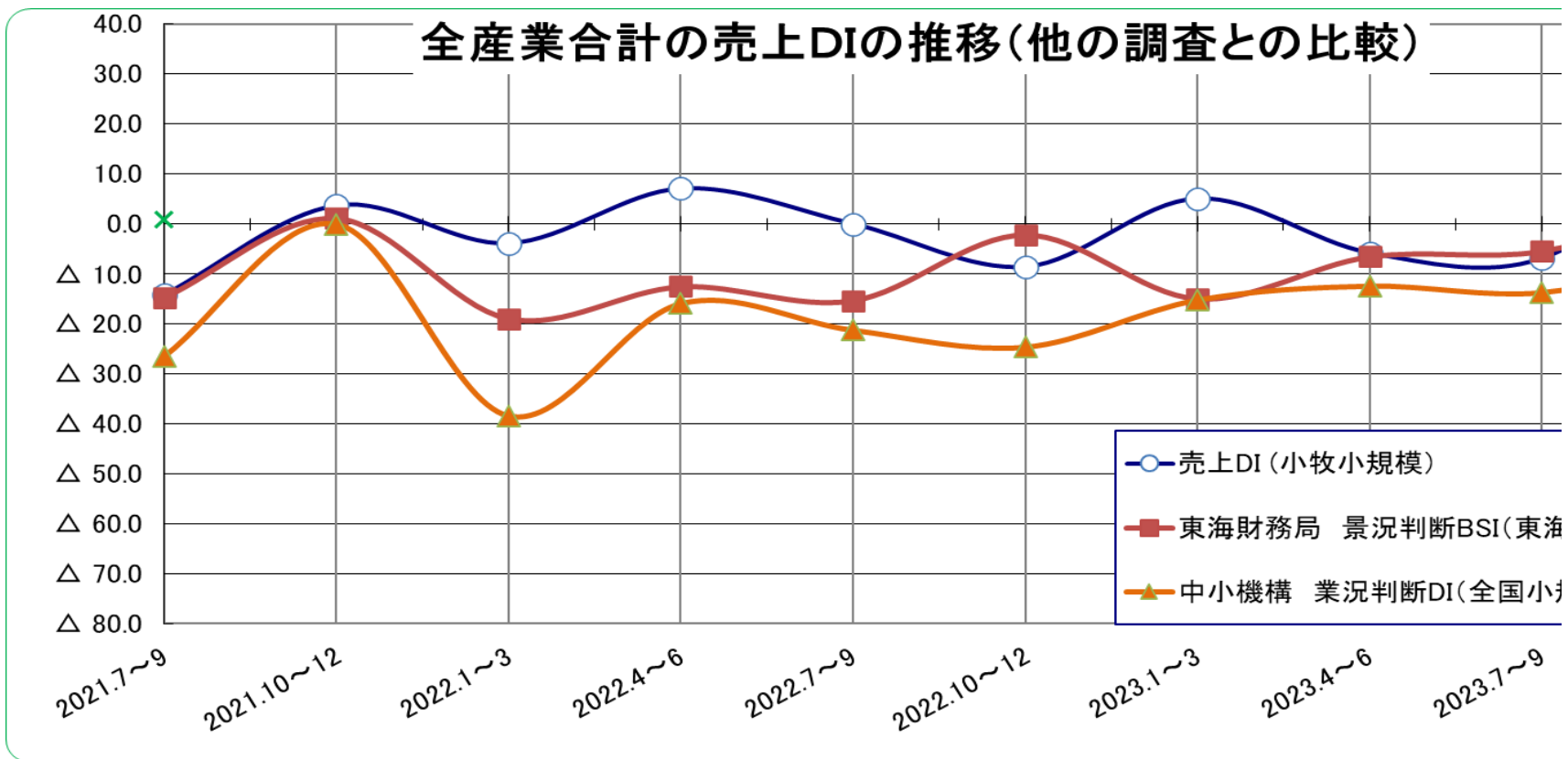
地域経済動向レポート

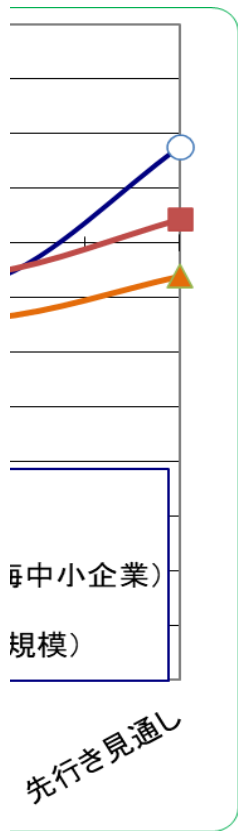
【全産業合計の売上D I～従業員D Iの動向／指標別】

- ① **売上D I** は2023年1～3月の調査より全体的にマイナス幅が拡大（前回△5.8→今回△6.9）したが、先行きは大幅に好転の見通し。
- ② **採算D I** はマイナス幅が縮小（前回△15.7→今回△6.9）したが、先行きは改善の見通し。
- ③ **資金操りD I** もマイナス幅が拡大（前回△9.1→今回△4.9）、マイナス幅はさらに減少の見通し。
- ④ **従業員D I** は、不足の傾向は微増（前回△8.3→今回△9.8）で、マイナス幅は減少の見通し。

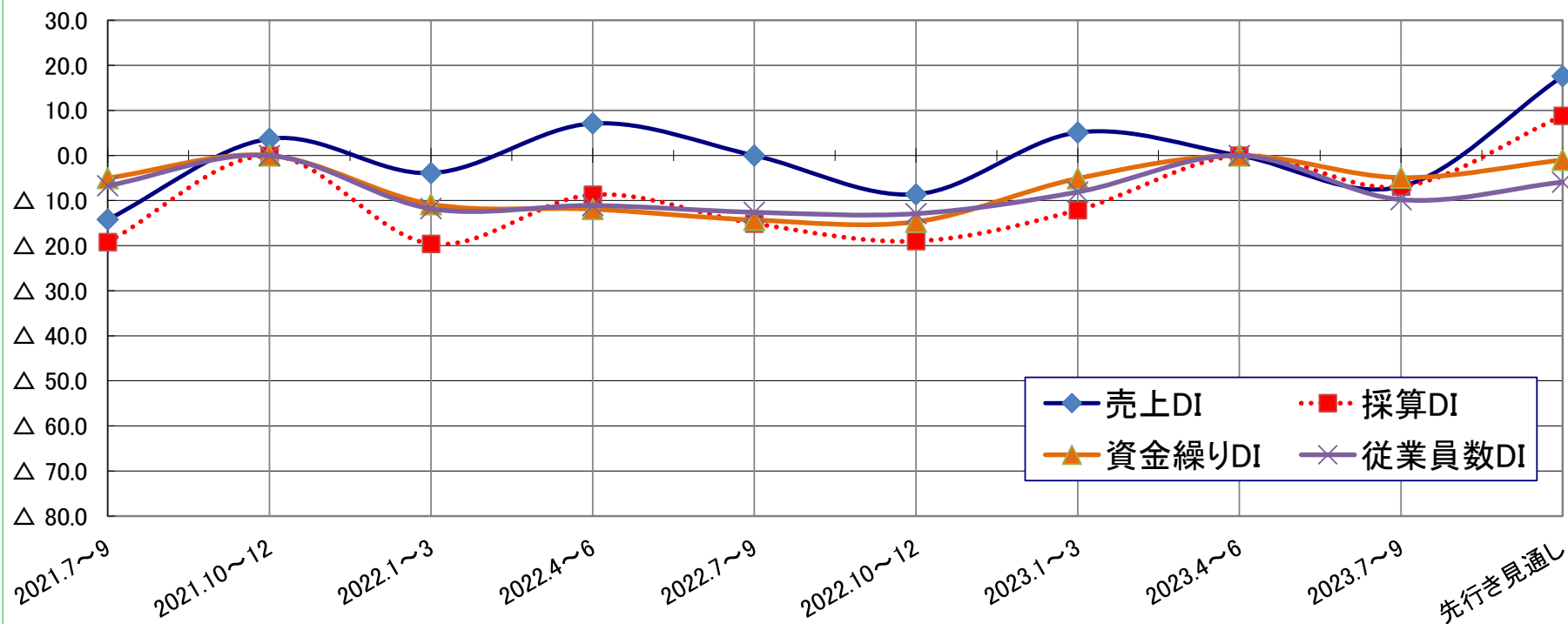


調査実施月	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	
調査期間	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	先行き見通し
売上DI (小牧小規模)	△ 14.2	3.7	△ 3.9	7.1	0.0	△ 8.6	5.1	△ 5.8	△ 6.9	17.6
中小機構 業況判断DI (全国小規模)	△ 26.5	△ 26.0	△ 38.3	△ 15.9	△ 21.2	△ 24.6	△ 15.2	△ 12.4	△ 13.7	△ 6.1
東海財務局 景況判断BSI (東海中小企業)	△ 14.7	1.2	△ 18.9	△ 12.5	△ 15.3	△ 2.1	△ 14.9	△ 6.5	△ 5.4	4.4





全産業合計の売上DI～従業員DIの推移(小規模)



●全DIの推移

調査実施月	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	
調査期間	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	先行き見通し
売上DI	△14.2	3.7	△3.9	7.1	0.0	△8.6	5.1	△5.8	△6.9	17.6
採算DI	△19.2	△0.9	△19.6	△8.7	△15.1	△19.0	△12.1	△15.7	△6.9	8.8
資金繰りDI	△5.0	0.0	△10.8	△11.9	△14.3	△14.7	△5.1	△9.1	△4.9	△1.0
従業員数DI	△6.7	△11.2	△11.8	△11.1	△12.6	△12.9	△8.1	△8.3	△9.8	△5.9

地域経済動向レポート

●売上DIの推移

調査実施月	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	
調査期間	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	先行き見通し
全産業	△ 14.2	3.7	△ 3.9	7.1	0.0	△ 8.6	5.1	△ 5.8	△ 6.9	17.6
建設業	13.6	5.6	0.0	4.8	△ 4.3	△ 15.0	0.0	15.0	0.0	5.9
製造業	0.0	19.2	0.0	15.0	0.0	20.0	3.3	8.6	△ 6.7	13.3
卸売業	△ 46.7	△30.8	△ 33.3	△ 12.5	△ 16.7	△ 36.4	28.6	△ 50.0	△ 33.3	0.0
小売業	△ 18.8	42.9	△ 25.0	△ 4.2	△ 8.0	△ 29.4	△ 31.3	△ 20.0	△ 23.5	0.0
サービス業	△ 34.6	△14.3	8.0	20.0	9.5	△ 12.0	20.0	△ 8.8	14.3	42.9
その他	△ 8.3	12.5	16.7	△ 12.5	25.0	△ 25.0	37.5	△ 50.0	△ 57.1	14.3

【POINT】売上DIは、全業種でマイナス幅減少の見通し。サービスを中心に、全体的に順調に回復する見通し。

●採算DIの推移

調査実施月	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	
調査期間	2021.7~9	2021.10~12	2022.1~3	2022.4~6	2022.7~9	2022.10~12	2023.1~3	2023.4~6	2023.7~9	先行き見通し
全産業	△ 19.2	△0.9	△ 19.6	△ 8.7	△ 15.1	△ 19.0	△ 12.1	△ 15.7	△ 6.9	8.8
建設業	9.1	0.0	△ 15.0	△ 14.3	△ 21.7	△ 15.0	△ 11.1	10.0	△ 11.8	0.0
製造業	△ 10.3	11.5	△ 7.4	2.5	△ 11.1	2.9	△ 20.0	△ 14.3	△ 3.3	10.0
卸売業	△ 40.0	△30.8	△ 66.7	△ 50.0	△ 50.0	△ 27.3	14.3	△ 50.0	△ 33.3	△ 33.3
小売業	△ 31.3	21.4	△ 50.0	△ 20.8	△ 28.0	△ 29.4	△ 12.5	△ 25.0	△ 23.5	△ 5.9
サービス業	△ 34.6	△7.1	△ 4.0	8.0	△ 4.8	△ 40.0	△ 15.0	△ 17.6	14.3	25.0
その他	△ 16.7	0.0	0.0	△ 25.0	25.0	△ 25.0	0.0	△ 33.3	△ 42.9	14.3

【POINT】採算DIは、全体的に微増傾向にあり、運輸業を含むその他業種では大幅に好転、卸売は横ばいであるが、他は改善の見通し。

地域経済動向レポート

●資金繰りDIの推移（小規模）

調査実施月	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	
調査期間	2021.7～9	2021.10～12	2022.1～3	2022.4～6	2022.7～9	2022.10～12	2023.1～3	2023.4～6	2023.7～9	先行き見通し
全産業	△ 5.0	△0.9	△ 10.8	△ 11.9	△ 14.3	△ 14.7	△ 5.1	△ 9.1	△ 4.9	△ 1.0
建設業	9.1	16.7	10.0	△ 4.8	0.0	△ 15.0	0.0	0.0	△ 5.9	△ 5.9
製造業	3.4	△7.7	△ 14.8	△ 15.0	△ 11.1	△ 5.7	△ 13.3	△ 11.4	△ 3.3	0.0
卸売業	△ 20.0	△38.5	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 18.2	0.0	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3
小売業	△ 6.3	△14.3	△ 33.3	△ 12.5	△ 20.0	△ 23.5	△ 6.3	△ 10.0	△ 23.5	△ 5.9
サービス業	△ 15.4	10.7	8.0	0.0	△ 19.0	△ 16.0	0.0	△ 2.9	10.7	3.6
その他	△ 8.3	12.5	△ 16.7	△ 12.5	△ 12.5	△ 25.0	0.0	△ 33.3	△ 14.3	14.3

【POINT】 資金繰りDIは建設・小売では悪化し、サービスは好転・その他業種ではマイナス幅縮小。その他業種では先行きは好転の見通し。

●従業員DIの推移（小規模）

従業員数DIの不足感が強い場合マイナス値になる様変更しました。

調査実施月	2021.10	2022.1	2022.4	2022.7	2022.10	2023.1	2023.4	2023.7	2023.10	
調査期間	2021.7～9	2021.10～12	2022.1～3	2022.4～6	2022.7～9	2022.10～12	2023.1～3	2023.4～6	2023.7～9	先行き見通し
全産業	△ 6.7	△11.2	△ 11.8	△ 11.1	△ 12.6	△ 12.9	△ 8.1	△ 8.3	△ 9.8	△ 5.9
建設業	△ 9.1	△33.3	△ 25.0	△ 23.8	△ 26.1	△ 15.0	△ 11.1	△ 15.0	△ 23.5	△ 17.6
製造業	△ 10.3	△15.4	△ 11.1	△ 12.5	△ 11.1	△ 20.0	△ 6.7	△ 8.6	△ 10.0	△ 6.7
卸売業	6.7	△7.7	△ 25.0	△ 12.5	△ 16.7	0.0	△ 28.6	0.0	0.0	0.0
小売業	0.0	7.1	0.0	4.2	△ 8.0	△ 5.9	0.0	△ 10.0	0.0	0.0
サービス業	△ 7.7	△3.6	△ 4.0	△ 16.0	△ 9.5	△ 16.0	△ 5.0	△ 5.9	△ 10.7	△ 3.6
その他	△ 16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 12.5	0.0	0.0	0.0

【POINT】 従業員DIは、小売では人員不足が解消した一方、建設では不足感が高まった。建設・サービスでは不足感解消傾向の見通し。

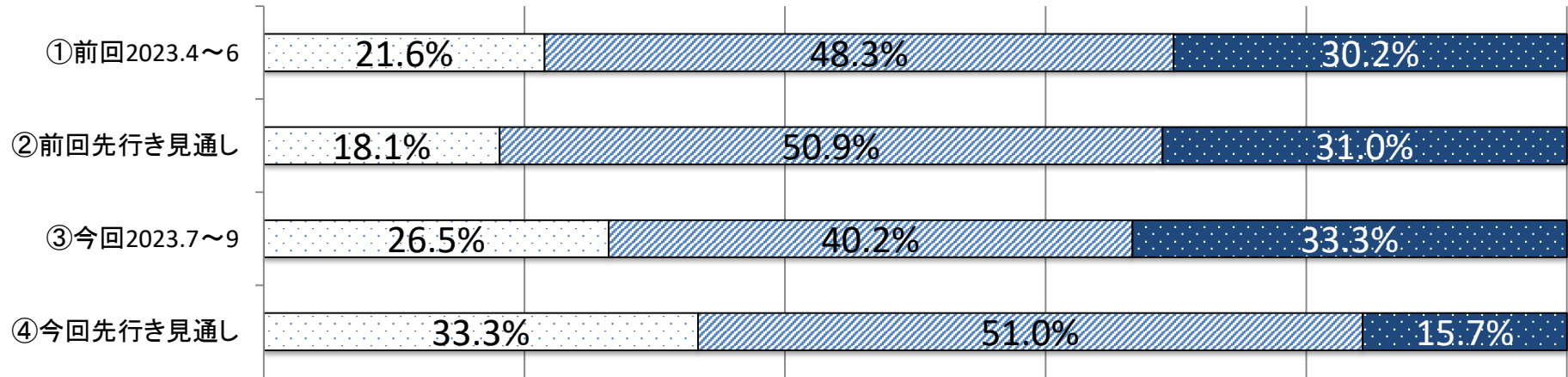
地域経済動向レポート

業況感と業界として当面している問題等に関する声

業種		内容
建設	現状	販売設備、資材等の仕入れ単価が上がっており、すべてお客様に転嫁できず収益が圧迫されている。／水回り設備工事
	先行き	10月より工事業業の内製化することにより利益の増加が見込めそう。また、雇用も好調で、来期には利益の増加が見込めそう。／土木建築サービス
製造	現状	コスト増に対して価格転嫁が進まない／ポンプ・圧縮機器製造
	先行き	コロナの影響も少し落ち着いてきており、少しずつではあるが、好転していくと思われる。公共の受注だけでなく民間の受注が増加することが期待される。／厨房製品製造
卸売	現状	円安、現地のコスト高によって仕入れ価格が上昇。／輸入家具卸
	先行き	受注量増加。タイミングの問題であり、インボイス導入や営業活動の結果ではない。／板硝子販売
小売	現状	コロナ禍が明けてからお客様が外向き（レジャー・旅行）に予算の多くを使う傾向にあり、来場者が減ったため。猛暑の影響も大きい。値上がりの為、上代が上がり、お客様の買い控えもあった。／家具、ジュータン、カーテン小売
	先行き	夏季が長く期中物の動きが止まった事で重衣料の見込み読めない。／婦人服小売
サービス	現状	今年に入り2つの団体に所属しました。その団体からの人脈で仕事につながる流れが出来た。／各種デザイン業
	先行き	年末の需要に期待している。／ダイニング&バー、持ち帰り飲食
その他	現状	燃料費・人件費の高騰／一般貨物自動車運送
	先行き	通常を受診・転院が回復した。気候も良くなり観光・レジャー利用が増えている。／介護タクシー

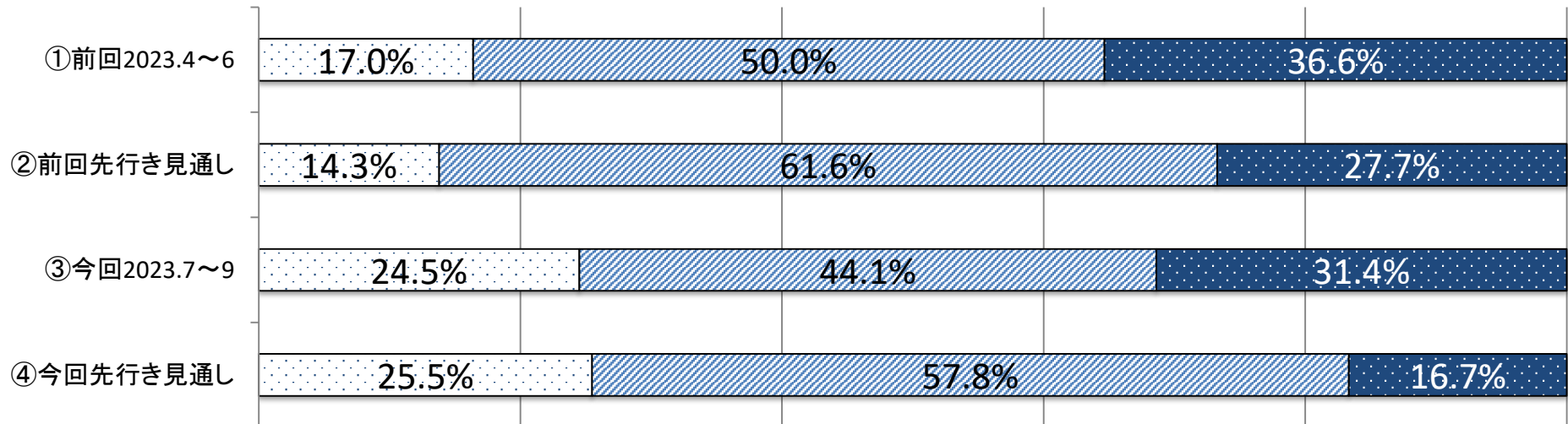
小規模の売上(回答割合)

□ 増加 ■ 不変 ■ 減少



小規模の採算(回答割合)

□ 好転 ■ 不変 ■ 悪化



付帯調査 経営上の課題について

